
中国情報（畜産）

2007年4月9日号

◎2006年における中国の乳業市場分析

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2006年における中国の乳業市場情勢の分析結果について発表した。その概要は以下のとおりである。

2006年の中国の乳業生産情勢は良好で、生乳生産量は引き続き安定的に増加した。乳・乳製品輸出入量はともに増加したが、輸入伸び率は輸出を大幅に上回り、輸出額・数量は伸び率が小さくなった。牛乳類（牛乳、加工乳、乳飲料など日本の統計では「飲用牛乳等」と分類されるもの。中国では鮮乳・純牛乳などと呼ばれているもの。以下同じ）の小売市場価格は小幅ながら上昇し、四半期ごとの変動幅は小さかった。都市部住民の乳・乳製品消費量は、わずかながら回復した。

1 乳牛飼養頭数、生乳生産量は安定的に増加、高能力牛の比率が上昇

2006年の中国の乳業生産情勢は良好で、乳牛飼養頭数及び生乳生産量は増加の勢いを維持したものの、伸び率は前年を若干下回った。農業部畜牧業司の予測によると、第1～3四半期までの乳牛飼養頭数は前年同期比2.6%増で、通年では1,330万頭、前年比3%以下の増加となる見込みである。第1～3四半期の生乳生産量は前年同期比14.0%増となり、通年では前年比15%前後増の3,290万トンに達するものと予測されている。第1～3四半期の生乳生産量（牛のみ）が生乳総生産量に占める割合は94.6%、前年比13.5%増と予測される。

北方の伝統的な生乳生産地帯でも、生乳生産量は引き続き安定的に増加した。特に乳牛生産地帯の各省・自治区では、優良乳牛の導入に対する政策的支援などを背景に、乳業の発展が良好で、乳牛の品種改良もピードアップしており、こうしたことが良好な効果を生んでいる。2006年には、これら主要生産地域の生乳生産量（牛のみ）が全国の合計生産量に占める割合は65%以上に及んだ。そのうち、東北地方の主要産地である黒龍江省の生産量は510万トン、内蒙古自治区が前年比27%増の880万トン、華北地方の主要産地である河

北省が同19.8%増の407.6万トンとなった。

全体的には、全国の乳牛飼養頭数は増加したものの、その伸び率は若干小さくなった。そして高能力乳牛の割合が上昇し、生乳生産量の増加は、乳牛の増頭によるものから、1頭当たり乳量の増加と原乳品質の向上によるものへとシフトしている。

2 乳・乳製品消費は小幅ながら回復、1人当たり消費量は北高南低

2006年の全国都市部の乳・乳製品消費は、小幅ながら回復した。国家統計局によると、2006年1～11月の全国都市部の毎月1人当たりの乳・乳製品消費量（牛乳類、粉乳及びヨーグルトの合計）は2.13kg（牛乳類：粉乳：ヨーグルト＝1：7：1のウェイトで生乳換算。以下同じ）で、年間換算では前年比2.8%増の25.59kgであった。製品別には、年間1人当たり牛乳類が前年比2.0%増の18.29kg、粉乳が同4.2%減の0.50kg、ヨーグルトが同14.9%増の3.79kgであった。

表1 全国の都市部住民1人当たりの乳・乳製品消費量(2006年)

(単位:kg/人)

	牛乳類	粉乳	ヨーグルト	合計
2006年	18.29	0.50	3.79	25.59
2005年	17.93	0.52	3.29	24.89
前年比増減	2.0%	-4.2%	14.9%	2.8%

資料:中国農業部

注1:合計値は、牛乳類:粉乳:ヨーグルト＝1:7:1のウェイトで生乳換算した値である。

2:四捨五入の関係で、合計値および前年比増減の値は必ずしも単純な計算値とは一致しない。

4つの直轄市のうち、上海市と重慶市は消費量が増加に転じたが、北京市、天津市ではわずかに減少した。北京市における1人当たりの年間消費量は45.3kgと、前年比2.3%減となったものの、絶対量は依然として4市の中ではトップの座にある。天津市は同1.5%減の27.7kgとわずかに減少した。重慶市は、2005年は大幅に減少したが、2006年は前年比8.4%増の31.0kgとかなりの程度増加したものの、2004年の33.1kgまでには回復していない。

また、上海市は同1.5%増の32.5kgと、前年の32.0kgを上回った。製品別には、牛乳類の1人当たり消費量が、重慶市で前年比14.9%増となったほかは軒並み減少した。ヨーグルトについては4市とも増加したが、上海市（前年比26.1%増）及び重慶市（同12.5%）の伸び率が比較的大きかった。一方、粉乳については、重慶市（同27.8%減）及び北京市（同17.6%減）では大幅に減少したが、上海市（同16.1%増）及び天津市（同4.5%増）では増加した。

直轄市以外で牛乳類の消費が比較的多いのは、主に北方の主要生産地である。甘粛省、山西省では、牛乳類の年間消費量が1人当たり30kgを超え、各々31.1kg、30.9kgとなり、トップの北京市に次ぎ、それぞれ中国第2位、第3位となった。山東省、新疆ウイグル自治区、

青海省及び河北省の4省・自治区でも、牛乳類の年間1人当たり消費量がそれぞれ28.6kg、27.3kg、24.6kg及び24.3kgとなり、上海市を超え、それぞれ第4位から第7位となった。そのほか遼寧省、寧夏回族自治区、陝西省、内蒙古自治区でも20kgを超え、いずれも牛乳類の年間1人当たり消費量の全国平均水準である18.29kgを超えている。

上記甘肅省から内蒙古自治区までの10省・自治区における牛乳類消費量の推移を見ると、新疆ウイグル自治区が前年比4.7%増、河北省が同2.4%増となったほかは、遼寧省、山西省、内蒙古自治区及び寧夏回族自治区が小幅ながら増加、逆に陝西省（同7.9%減）、青海省（同7.4%減）、甘肅省（同4.1%減）及び山東省（同0.5%減）ではそれぞれ減少した。

表2 主要生産地の都市部における牛乳類消費

(単位:kg/人・年)

2006年		2005年	
省・自治区	1人当たり消費量	省・自治区	1人当たり消費量
甘肅省	31.10	甘肅省	32.42
山西省	30.94	山西省	30.52
山東省	28.58	山東省	28.73
新疆ウイグル自治区	27.25	青海省	26.54
青海省	24.57	新疆ウイグル自治区	26.04
河北省	24.31	河北省	23.73
遼寧省	23.92	遼寧省	23.55
寧夏回族自治区	22.55	陝西省	23.16
陝西省	21.34	寧夏回族自治区	22.35
内蒙古自治区	21.32	内蒙古自治区	20.95

資料:中国農業部

中部及び南部の省・自治区では、都市部住民の牛乳類消費量の増減が比較的大きかった。海南省（前年比37.9%増）、安徽省（同16.3%増）及び貴州省（同10.6%増）では増加となった一方、チベット自治区（同30.4%減）、雲南省（同8.2%減）及び広西チワン自治区（同6.1%減）ではそれぞれ減少した。

3 牛乳類市場価格はわずかに上昇、四半期ごとの変動幅は小

国家發展改革委員会によると、2006年の全国の牛乳類小売市場価格はわずかに上昇した。同年1～12月の全国モニター対象都市における牛乳類の平均価格は、前年比2.7%前後高の500g当たり2.25元（約34円：1元＝15.2円（2006年末相場））となった。四半期ごとに見ると、第1～3四半期における全国の平均価格は、500g当たり2.24～2.25元（34円前後）で安定していたが、第4四半期には2.28元（約35円）とわずかに上昇した。国家統計局によると、同年1～11月における都市部住民の牛乳類の1人当たりの平均購入量は16.77kg、平均支出は79.49元（約1,208円）で、1kg当たりに換算すると4.74元（約72円）となり、この単価水準とモニター価格情報はほぼ一致している。

2006年1月から、国家發展改革委員会価格監測中心（監測＝モニター）は牛乳類市場価

格の定点観測ポイントの修正を行っており、これまでは各都市1か所であった集計ポイントを3か所に増やした。つまり、集荷市場（または農作物取引市場）2カ所、スーパーマーケット1カ所の計3カ所のポイントを置き、その平均価格を当該地の小売市場価格とすることにより、実際の現地価格水準により近づけることとした。

こうした定点観測ポイントの修正により、一部の省・自治区においては、2006年と前年の価格との間に比較的大きな差が生じることとなり、主に低価格帯と高価格帯にある省・自治区において変化の幅が大きかった。前年に比べ価格が比較的安定（価格変動が±3%以内）していたのは12省・自治区、上昇率が3%以上となったのは11省・自治区で、上昇率が大きかった省・自治区でも、これまでの価格よりは低めとなっている。

価格上昇率が20%を超えたのは6省で、前年の平均価格はいずれも1.80元（約27円）以下であったが、このうち変動率が最大だったのは寧夏回族自治区であり、前年の500g当たり1.25元（約19円）から2006年は同2.22元（約34円）となり、価格は77.6%高となった。黒龍江省は前年比51.2%高、新疆ウイグル自治区は同44.3%高となった。

価格が下落したのは8省・自治区、このうち下落率が1割を超えたのは6省であり、前年の平均価格はいずれも2.50元（約38円）以上であったが、このうち広東省は前年比28.6%安と下落幅が大きかった。このほか湖北省が同19.2%安、安徽省が同16.9%安であった。

価格帯から見ると、中間価格帯に位置する省の増加が多く、その平均価格は若干下落した。高価格帯と低価格帯の省はいずれも減少し、その平均価格はやや上昇した。価格が500g当たり2～3元（約30～46円）の中間価格帯にある省・自治区は17あったが、前年は8か所であった。その平均価格は、前年比8.6%安の500g当たり2.39元（約36円）であった。価格が同3元（約36円）以上の高価格帯にあったのは7か所で、その平均価格は同1.6%高の500g当たり3.21元（約49円）であった。価格が同2元（約30円）以下の低価格帯にあったのは10省・自治区で、その平均価格は同5.1%高の500g当たり1.64元（約25円）であったが、前年は16か所、平均価格は同1.56元（約23円）であった。

4 乳・乳製品輸出入は全体に増加、輸入伸び率は輸出を上回る。

2006年の乳・乳製品貿易は全体に増加したが、輸入額の伸び率が比較的大きく、輸出額・量の輸入率は縮小したものの、輸出が貿易全体に占める割合は徐々に増している。通年の乳・乳製品貿易額は前年比20.7%増となったが、そのうち輸入額が貿易額に占める割合は85.6%となった。乳・乳製品貿易量は前年比8.4%増で、うち輸入量が貿易量に占める割合は82.3%となった。金額・数量ともに、輸入が貿易に占める割合は年々低下する傾向にあり、輸出の割合が徐々に増加しつつある。2004年と比較して、輸入額の割合は4.4ポイント低下、輸入量の割合も3.9ポイント低下した。

(1) 乳・乳製品輸入

海関統計によると、2006年1～12月の中国の乳・乳製品輸入額は前年比21.7%増の

55,820万ドル（約670億円：1ドル=120円（2006年末相場））となり、伸び率は前年を18.4ポイント上回った。輸入量は同8.7%増の34万7,826トンとなった。濃縮もしくは乾燥をしまたは砂糖その他の甘味料を加えたもの（HSコード0402類=粉乳、練乳など）の輸入額は前年比23.6%増の19,455万ドル（約233億円）で、輸入額合計に占める割合は52.2%となり、輸入乳・乳製品のトップを占めた。次いで多いのは、ホエイなど0403類で、輸入額は同23.4%増の19,455万ドル（約233億円）となり、0402～3類で乳・乳製品輸入額の87.1%を占めた。

表3 中国の乳・乳製品貿易状況(2006年)

	乳・乳製品輸入		乳・乳製品輸出	
	数量(トン)	金額(万ドル)	数量(トン)	金額(万ドル)
2006年	347,826.2	55,820.5	74,860.1	9,416.3
2005年	320,034.8	45,877.1	69,823.5	8,177.1
前年比増減	8.7%	21.7%	7.2%	15.2%

資料:中国農業部

表4 中国の関税分類別乳・乳製品輸入状況(2006年)

HSコード	製品例	輸入額(万ドル)	前年比増減
0401類	液状乳、アイスクリームなど	516.9	-10.6%
0402類	粉乳、練乳など	29,146.3	23.6%
0403類	ヨーグルト、バターミルク、バターミルクパウダーなど	172.4	20.0%
0404類	ホエイなど	19,455.3	23.4%
0405類	バター、デリースプレット、バターオイルなど	2,716.4	-14.5%
0406類	チーズなど	3,813.1	44.3%
合計		55,820.5	21.7%

資料:中国農業部

輸入相手国別には、ニュージーランド、米国、フランス及びオーストラリアの4カ国が主要な輸入市場であり、かつこれらの国々への輸入集中度が徐々に高まってきている。2006年1～12月にこれら4カ国から輸入された乳・乳製品の伸び率は、それぞれ22.0%、39.4%、23.3%及び5.1%であり、輸入額合計に占める割合は、それぞれ48.5%、15.1%、10.7%及び9.2%と、4カ国合計で83.6%を占め、集中度は前年比0.8ポイントの上昇となった。

中国における主要な輸入省級行政区は、天津市、広東省、上海市、北京市、浙江省の5省市に集中している。2006年における5省市の輸入額は47,488万ドル（約570億円）

で、全国の輸入額の85.1%を占めている。そのうち浙江省の伸び率が最大で、208.7%に至っている。各省市とも輸入額順位の第5位までに連なっており、天津市の輸入額は前年比56.7%増の12,557.7万ドル（約151億円）に達し、上海市、広東省を超えてトップとなった。広東省は同16.9%増で、輸入額は1億ドル（約120億円）を超え、天津市で第2位となった。山東省、湖南省、遼寧省の輸入額も1千万ドル（約12億円）を超え、それぞれ輸入額順位で6～8位となった。

(2) 乳・乳製品輸出

海関統計によると、2006年1～12月の中国の乳・乳製品輸出量は前年比7.2%増の7万4,860.1トンとなった。輸出額は同15.2%増の9,416.3万ドル（約113億円）となった。輸出額が最も多かったのは0402類の6,719.0万ドル（約81億円）で、前年比20.2%増、輸出額合計の71.4%を占めた。液状乳、アイスクリームなどの0401類の輸出額は2,386.5万ドル（約29億円）で、輸出額合計の25.3%を占め、0401～2類で乳・乳製品輸入額の96.7%を占めた。

表5 中国の関税分類別乳・乳製品輸出状況(2006年)

HSコード	製品例	輸出額(万ドル)	前年比増減
0401類	液状乳、アイスクリームなど	2,386.5	5.5%
0402類	粉乳、煉乳など	6,719.0	20.2%
0403類	ヨーグルト、バターミルク、バターミルクパウダーなど	81.6	10.6%
0404類	ホエイなど	46.8	-10.5%
0405類	バター、デリースプレッド、バターオイルなど	19.7	102.3%
0406類	チーズなど	162.7	-13.9%
合計		9,416.3	15.2%

資料: 中国農業部

中国の乳・乳製品の主要輸出市場はアジア地区に集中しており、トップの香港特別行政区向けの輸出額は前年比4.7%増の3,923.3万ドル（約47億円）となり、輸出額合計の41.7%を占めた。台湾向け輸出額は引き続き高い伸び率を維持し、同78.9%増の3,223.1万ドル（約39億円）となり、輸出額合計の34.2%を占めて第2位となった。第3位はミャンマーで輸出割合は8.9%、以下イラク（同2.7%）、フィリピン（同2.4%）と続くが、第5位のフィリピン向け輸出額は、前年の10倍以上に達した。この上位5カ国合計で、輸出額合計の89.9%を占めた。

中国の乳・乳製品輸出省級行政区は比較的集中しており、黒龍江省、山東省、広東省、内モン自治区、雲南省の5省・自治区が主要輸出元である。2006年における5省・自治

区の輸出額は、全国の91.6%を占めるに至っている。

5 2007年における乳業市場展望

2007年の中国の乳・乳製品価格は引き続き上昇傾向を維持すると予測される。特に輸入品も影響を受け、国内の高級粉乳の市場価格は一定幅の上昇をされると思われる。近年、中国の乳・乳製品輸入はハイペースで増加しており、ホエイ及び粉乳類が主要な輸入製品となっているが、このほか乳糖など国内で生産されていない品目も含まれている。輸入粉乳のうち、外資の高級育児用調製粉乳は、輸入後に小分け包装するだけでそのまま高級ブランドとして販売することができる。2006年の国内市場では、外資ブランドの育児用調製粉乳が、主として国際市場価格の上昇によって値上がりした。こうした高い利潤性に対し、国内の乳業メーカーが高級育児用調製粉乳市場に参入し始めたものの、主要原料である乳糖はすべて輸入に頼っており、その生産は国際乳製品原料価格の影響を受けるものと考えられる。

米国農務省（USDA）が最近発表したところによると、乳製品原料の価格高騰は国際市場価格に対して重大な影響を及ぼし、必ずや国内の高級粉乳市場価格にも波及してくるものと思われる。2007年は、乳・乳製品輸入は引き続き拡大し、国内の高級乳製品市場価格、特に高級粉乳価格はさらに上昇するものと予測される。乳業メーカーは、これに対し積極的な措置をとるべきであり、加工技術レベルを高め、価格決定の主導権を握り、国際市場の影響に対応すべきである。